

保呂羽浄水場再構築事業について

1 事業目的

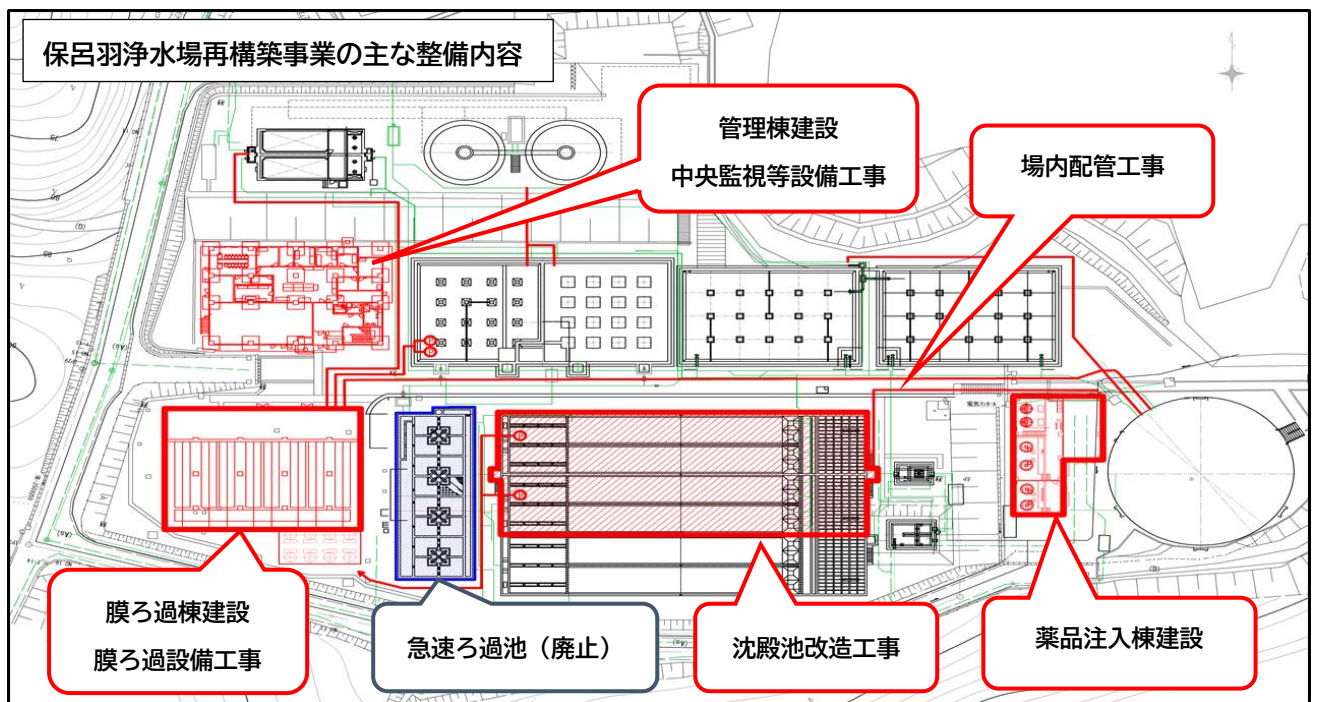
将来にわたり安全な水道水を安定的に供給するため、施設の状況や今後の需要予測、財源の確保等の検討を行い、平成30年2月に「登米市水道事業施設更新計画」を策定した。

登米市の全給水量の85%を供給している保呂羽浄水場が、建設から40年以上が経過し、建設時には考慮されていなかった高い浄水能力を求められるようになったことや近年の水質問題に対応することが難しくなっていること等から、施設更新計画に基づき再構築事業に取り組んでいるものである。

2 事業概要

- (1) 対象施設 登米市保呂羽浄水場（登米市登米町寺池道場内）
- (2) 水源 一級河川北上川 表流水
- (3) 予定浄水処理方式 膜ろ過方式
- (4) 既存施設能力 30,700m³/日
- (5) 更新対象設備 浄水処理施設（ろ過設備、沈殿池、薬品注入設備）
管理棟、場内配管、ほか
- (6) 予定事業方式 DBM方式*

* Design（設計）-Build（建設）-Maintenance（維持管理）を一括して委ねる方式



3 事業期間

令和3年度から令和11年度

(1) 保呂羽浄水場再構築事業事業者選定支援業務

令和3年6月～令和5年3月

(2) 保呂羽浄水場再構築事業

令和5年4月契約予定 令和11年10月供給開始予定

4 概算工事費

約66億円(税込み)

5 スケジュール

